

令和3年度事業計画書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

令和3年度事業計画

令和3年度収支予算

一般財団法人油脂工業会館

(令和3年3月23日 理事会提出)

令和3年度 事業計画

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

当一般財団法人は、油脂工業に関する調査研究の助成、技術・経営の向上に寄与する優秀論文の表彰等を行うことにより、油脂工業の健全な発展を図り、我が国の国民生活の向上に貢献することを目的に活動を行う。

公益法人制度改革への対応については、公益目的支出計画に基づき公益事業を継続して実施するとともに、内閣府への適正な報告を実施するものとする。

I. 会議計画

1. 定時理事会・評議員会

- (1) 令和3年5月25日 : 定時理事会
 - 令和2年度事業報告及び決算報告書の承認の件
- (2) 令和3年6月 : 定時評議員会
 - 令和2年度事業報告及び決算報告書の承認の件
- (3) 令和4年3月 : 定時理事会
 - 令和4年度事業計画書(案)及び令和4年度予算(案)の審議・承認

2. 審査委員会

- (1) 令和3年11月に油脂産業優秀論文の第一次審査委員会を、12月に第二次審査委員会を開催する。
- (2) 令和3年12月に油脂技術優秀論文審査委員会及び令和4年度研究助成金授与者の審査を行う。

II. 事業計画

1. 油脂工業に関する調査研究への助成(継続) 【定款 第4条第1項関係】

- (1) 公益社団法人日本油化学会(以下日本油化学会という)に対して、学術誌「Journal of Oleo Science」の出版事業を助成する。
また、油化学に関する研究技術奨励のために「Journal of Oleo Science」誌掲載の優秀論文に対する「エディター賞」受賞者及び若手研究者を対象として「ヤングフェロー賞」受賞者に対して研究奨励金を寄附する。

(2) 若手研究者の育成を目的とした研究助成制度の令和2年度の助成を4月に実施する。

令和4年度分の助成は令和3年6月から同年8月末迄に申込みを受け付けるものとする。

2. 油脂技術及び油脂産業優秀論文の表彰（継続） 【定款 第4条第2項関係】

(1) 油脂技術優秀論文の表彰は1958年より開始し、本年で第65回目を数える。また油脂産業論文の表彰は1969年より開始し本年で第53回目を迎える。これらの表彰事業は、油脂業界関係者の深い理解と協力のもと長い歴史を刻んでおり、業界企業の活性化の一助となっていることはもとより、油化学の発展 ならびに 国民生活の向上に大きく貢献している。

令和3年度の油脂産業論文は下記の課題テーマで募集する。

- 『ニューノーマルな社会で油脂産業に求められる役割とは』
- 『2050年温室効果ガス排出ゼロへの油脂産業の貢献』

上記2課題テーマの他に『自由研究論文』を設定する。

(2) 令和2年度の入賞者及び研究助成金授与者による、第21回「油脂優秀論文賞受賞講演会」は、9月6日に 岐阜大学（岐阜県岐阜市柳戸1-1）で開催される第60回 日本油化学会年会に合わせて開催する。

3. 油脂工業に関する普及及び啓発（継続） 【定款 第4条第3項関係】

日本油化学会との共催事業である「地区講演会」は、大阪府柏原市・東京都八王子市・長野県長野市・岡山県岡山市の4箇所拠点に Web 併用で開催する。

4. 油脂工業に関する情報の収集及び提供（継続） 【定款 第4条第4項関係】

(1) 1979年にスタートした講演会は、昨年度の1回の開催を加え、第78回目を実施した。

各界の著名人を講師に迎え、その時代に相応しいテーマで、業界関係者だけでなく幅広い方々へ情報を提供している。

本年度も、政治経済・技術・文化の分野から現在のニーズに合ったテーマを選定し春・秋に各1回実施する。

(2) 油脂業界の中堅社員による「研究会」は、今年で20回目となる。

令和元年度は、「気候変動および異常気象リスクを見据えた油脂原料の獲得」という研究テーマで4月末完成をしたが、令和2年度は、新型コロナウイルス禍を考慮して実施を取りやめ、令和元年の成果報告会を5月の定時理事会後に実施する。研究成果は研究報告書として業界関係会社・団体等へ配布し、油脂工業会館のホームページでも公開している。

この研究会は、メンバーの相互啓発・スキルアップにも大いに役立っている。
本年度も、新しいテーマで業界各社よりメンバーを募集し実施する。

5. 内外関係機関等との交流及び協力（継続） **【定款 第4条第5項関係】**

日本油化学会が行う油化学及び油脂工業に関する国際交流事業を支援する目的で寄附を行う。

6. 会館の管理運営（継続） **【定款 第4条第6項関係】**

当館は1963年に竣工し、今年で58年目を迎える。

歴代の管理者による耐震補強工事を初めとする丁寧な維持管理により、今後も十分継続して活用できる建物の状況にある。

附属設備である空調設備・給湯機器・給排水設備等の衛生設備・照明設備の経年劣化に対する処置や省エネルギー対策・防災対策についても中長期計画に基づいて着実に実施しており、今年度も継続する。

新型コロナウイルスによる安全衛生対策についても、空調機器や衛生機器の洗浄消毒の実施強化や換気、パーティションによる入居者・来館者の人ひと間の距離確保などに努める。

また、機器・設備類の軽微な補修等は、出来るだけ会館内で実施する体制を整え、これを維持継続するものとする。

令和2年度は、新たに貸室として確保した1階1箇所テナントの入室が有り、満室を持って令和3年度を迎えることが出来る。テナントへのサービス維持向上により、安定した収益体制の維持に努める。

Ⅲ. 事務局計画

1. 一般財団法人格維持に対する対応

公益目的支出計画に基づき、令和2年度に実施した項目について内閣府へ届け出るものとする。

以上

令和3年度 収支予算

収支予算書(資金ベース)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：千円)

科目	項番	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部	1				
1. 事業活動収入	2				
①基本財産運用収入	3				
・基本財産賃貸料収入	4	0	0	0	
・基本財産利息収入	5	0	0	0	
②特定資産運用収入	6				
・特定資産利息収入	7	998	1,218	△ 220	
③事業収入	8				
・賃貸料収入	9	153,562	156,721	△ 3,159	
・共用費収入	10	23,083	22,953	130	
④寄付金収入	11				
・論文奨励賞基金収入	12	0	0	0	
⑤雑収入	13				
・受取利息収入	14	2	2	0	
・雑収入	15	1,700	2,100	△ 400	会議室料、自販機
⑥他会計からの繰入金収入	16				
・寄附金収入	17	21,000	21,000	0	
事業活動収入計	18	200,345	203,994	△ 3,649	
2. 事業活動支出	19				
①事業費支出	20	133,916	138,449	△ 4,533	
②管理費支出	21	550	550	0	
③他会計への繰入金支出	22				
・寄附金支出	23	21,000	21,000	0	
④法人税住民税等	24	16,200	16,000	200	
事業活動支出計	25	171,666	175,999	△ 4,333	
事業活動収支差額	26	28,679	27,995	684	
II 投資活動の部	27				
1. 投資活動収入	28				
投資活動収入計	29	0	0	0	
2. 投資活動支出	30				
①特定資産取得支出	31				
・建物改修引当資産取得支出	32	0	10,000	△ 10,000	
・退職給付引当資産取得支出	33	1,281	1,076	205	
・預り敷金引当資産取得支出	34	10,000	10,000	0	
②固定資産取得支出	35	22,970	18,080	4,890	
投資活動支出計	36	34,251	39,156	△ 4,905	
投資活動収支差額	37	△ 34,251	△ 39,156	4,905	
III 財務活動収支の部	38				
財務活動収支差額	39		0	0	
IV 予備費支出	40	0	3,000	△ 3,000	
当期収支差額	41	△ 5,572	△ 14,161	8,589	
前期繰越収支差額	42	169,592	170,172	△ 580	
次期繰越収支差額	43	164,020	156,011	8,009	

収支予算書（損益ベース）
 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

令和3年3月23日
 (単位：千円)

科目	項番	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部	1				
1. 経常増減の部	2				
(1) 経常収益	3				
①基本財産運用益	4				
基本財産貸料収入	5	0	0	0	
基本財産利息収入	6	0	0	0	
②特定資産運用収入	7				
特定資産利息収入	8	998	1,218	△ 220	
③会館運営事業収入	9				
貸料収入	10	153,562	156,721	△ 3,159	
共用費収入	11	23,083	22,953	130	
④雑収益	12				
受取利息	13	2	2	0	
雑収入	14	1,700	2,100	△ 400	
(経常収益計)	15	179,345	182,994	△ 3,649	
(2) 経常費用	16				
①実施事業等(公益)事業費	17	19,959	21,006	△ 1,047	
給与手当	18	2,513	1,990	523	従事割合(10%配賦)
福利厚生費	19	287	350	△ 63	"
退職給付費用	20	128	108	20	"
旅費・宿泊費	21	550	500	50	
式典費	22	2,000	2,000	0	
表彰金	23	3,400	3,400	0	
審査料	24	1,950	1,950	0	
講演費	25	800	1,000	△ 200	
印刷製本費	26	800	1,000	△ 200	
通信費	27	200	300	△ 100	
寄附金	28	800	800	0	
助成金	29	3,000	4,000	△ 1,000	
共催金	30	1,000	1,000	0	
交際費	31	850	800	50	
雑費	32	100	100	0	
会館運営事業費からの費用配賦	33	1,581	1,708	△ 127	使用面積割合(1.5%配賦)
②会館運営事業費	34	128,197	132,402	△ 4,205	
給与手当	35	21,365	16,914	4,451	従事割合(85%配賦)
福利厚生費	36	2,438	2,975	△ 537	"
退職給付費用	37	1,086	915	171	"
ビル管理委託費	38	41,160	41,160	0	使用面積割合(98.0%配賦)
保守保全費	39	3,920	3,920	0	"
修繕費	40	3,380	11,377	△ 7,997	"
光熱水料費	41	8,330	8,820	△ 490	"
備品費	42	2,450	1,960	490	"
消耗品費	43	980	980	0	"
保険料	44	570	482	88	"
租税公課	45	22,638	22,638	0	"
印刷製本費	46	98	98	0	"
交通費	47	588	588	0	"
交際費	48	1,176	1,470	△ 294	"
会議費	49	98	98	0	"
通信費	50	196	196	0	"
諸会費	51	490	490	0	"
雑費	52	1,960	1,960	0	"
減価償却費	53	15,274	15,361	△ 87	"
③管理費	54	2,541	2,341	200	
給与手当	55	1,257	994	263	従事割合(5%配賦)
福利厚生費	56	143	175	△ 32	"
退職給付費用	57	64	53	11	"
役員会費	58	550	550	0	
会館運営事業費からの費用配賦	59	527	569	△ 42	使用面積割合(0.5%配賦)
(経常費用計)	60	150,697	155,749	△ 5,052	
投資有価証券評価損益等	61			0	
(当期経常増減額)	62	28,648	27,245	1,403	
2. 経常外増減の部	63				
(1) 経常外収益	64				
経常外収益計	65	0	0	0	
(2) 経常外費用	66	0	0	0	
経常外費用計	67	0	0	0	
(当期経常外増減額)	68	0	0	0	
他会計振替額	69			0	
税引前一般正味財産増減額	70	28,648	27,245	1,403	
法人税・住民税及び事業税	71	16,200	16,000	200	
当期一般正味財産増減額	72	12,448	11,245	1,203	
一般正味財産期首残高	73	524,975	512,283	12,692	
一般正味財産期末残高	74	537,423	523,528	13,895	
II 指定正味財産増減の部	75			0	
論文奨励賞基金収入	76	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	77			0	
指定正味財産期首残高	78	42,500	42,500	0	
指定正味財産期末残高	79	42,500	42,500	0	
III 正味財産期末残高	80	579,923	566,028	13,895	

収支予算書内訳表 (損益ベース)

令和3年3月23日

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:千円)

科目	項番	実施事業等会計					その他会計 会館運営事業	法人会計	内部取引消去	合計
		継1(表彰)	継2(助成)	継3(講演)	共通	小計				
I 一般正味財産の部	1									
1. 経常増減の部	2									
(1) 経常収益	3									
①基本財産運用益	4									
基本財産貸料収入	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産利息収入	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②特定資産運用収入	7									
特定資産利息収入	8	98	131	0	213	442	556	0	0	998
③会館運営事業収入	9					0				0
貸料収入	10	0	0	0	0	0	153,562	0	0	153,562
共用費収入	11	0	0	0	0	0	23,083	0	0	23,083
④雑収益	12					0				0
受取利息	13	0	0	0	0	0	2	0	0	2
雑収入	14	0	0	0	0	0	1,700	0	0	1,700
(経常収益計)	15	98	131	0	213	442	178,903	0	0	179,345
(2) 経常費用	16									
①実施事業等(公益)事業費	17	9,110	4,000	2,320	4,529	19,959	0	0	0	19,959
給与手当	18	0	0	0	2,513	2,513	0	0	0	2,513
福利厚生費	19	0	0	0	287	287	0	0	0	287
退職給付費用	20	0	0	0	128	128	0	0	0	128
旅費・宿泊費	21	450	0	100	0	550	0	0	0	550
式典費	22	2,000	0	0	0	2,000	0	0	0	2,000
表彰金	23	3,400	0	0	0	3,400	0	0	0	3,400
審査料	24	1,750	200	0	0	1,950	0	0	0	1,950
講演費	25	0	0	800	0	800	0	0	0	800
印刷製本費	26	700	0	100	0	800	0	0	0	800
通信費	27	100	0	100	0	200	0	0	0	200
寄附金	28	0	800	0	0	800	0	0	0	800
助成金	29	0	3,000	0	0	3,000	0	0	0	3,000
共催金	30	0	0	1,000	0	1,000	0	0	0	1,000
交際費	31	700	0	150	0	850	0	0	0	850
雑費	32	10	0	70	20	100	0	0	0	100
会館運営事業費からの配賦	33	0	0	0	1,581	1,581	0	0	0	1,581
②会館運営事業費	34	0	0	0	0	0	128,197	0	0	128,197
給与手当	35	0	0	0	0	0	21,365	0	0	21,365
福利厚生費	36	0	0	0	0	0	2,438	0	0	2,438
退職給付費用	37	0	0	0	0	0	1,086	0	0	1,086
ビル管理委託費	38	0	0	0	0	0	41,160	0	0	41,160
保守保全費	39	0	0	0	0	0	3,920	0	0	3,920
修繕費	40	0	0	0	0	0	3,380	0	0	3,380
光熱水料費	41	0	0	0	0	0	8,330	0	0	8,330
備品費	42	0	0	0	0	0	2,450	0	0	2,450
消耗品費	43	0	0	0	0	0	980	0	0	980
保険料	44	0	0	0	0	0	570	0	0	570
租税公課	45	0	0	0	0	0	22,638	0	0	22,638
印刷製本費	46	0	0	0	0	0	98	0	0	98
交通費	47	0	0	0	0	0	588	0	0	588
交際費	48	0	0	0	0	0	1,176	0	0	1,176
会議費	49	0	0	0	0	0	98	0	0	98
通信費	50	0	0	0	0	0	196	0	0	196
諸会費	51	0	0	0	0	0	490	0	0	490
雑費	52	0	0	0	0	0	1,960	0	0	1,960
減価償却費	53	0	0	0	0	0	15,274	0	0	15,274
③管理費	54	0	0	0	0	0	0	2,541	0	2,541
給与手当	55	0	0	0	0	0	0	1,257	0	1,257
福利厚生費	56	0	0	0	0	0	0	143	0	143
退職給付費用	57	0	0	0	0	0	0	64	0	64
役員会費	58	0	0	0	0	0	0	550	0	550
会館運営事業費からの配賦	59	0	0	0	0	0	0	527	0	527
(経常費用計)	60	9,110	4,000	2,320	4,529	19,959	128,197	2,541	0	150,697
投資有価証券評価損益等	61									0
(当期経常増減額)	62	△ 9,012	△ 3,869	△ 2,320	△ 4,316	△ 19,517	50,706	△ 2,541	0	28,648
2. 経常外増減の部	63									
(1) 経常外収益	64									
(経常外収益計)	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(経常外費用計)	67	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(当期経常外増減額)	68	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	69	0	0	0	21,000	21,000	△ 23,541	2,541	0	0
税引前一般正味財産増減額	70	0	0	0	0	1,483	27,165	0	0	28,648
法人税・住民税及び事業税	71	0	0	0	0	0	16,200	0	0	16,200
(当期一般正味財産増減額)	72	0	0	0	0	1,483	10,965	0	0	12,448
一般正味財産期首残高	73	0	0	0	0	0	524,975	0	0	524,975
一般正味財産期末残高	74	0	0	0	0	1,483	535,940	0	0	537,423
II 指定正味財産増減の部	75									
論文奨励賞基金収入	76	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(当期指定正味財産増減額)	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	78					42,500	0	0	0	42,500
指定正味財産期末残高	79					42,500	0	0	0	42,500
III 正味財産期末残高	80	0	0	0	0	43,983	535,940	0	0	579,923